EÜPA

HR-191A
コーヒーメーカー（家庭用）
COFFEE MAKER

CONTENTS

1. 安全上のご注意……………………………P.1
2. 各部のなまえ………………………………P.2
3. 仕　　　様…………………………………P.2
4. ご使用上の注意 …………………………P.3
5. ご使用方法 ……………………………P.3〜5
6.お手入れの仕方……………………………P.5
7. お湯の出ぐあいが悪くなったときは………P.6
8. アフターサービスについて………………P.6
9. 保証書(持込修理)…………………………P.7

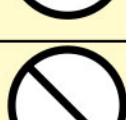
このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末永くご愛用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

別売商品		
品　　名	商品番号	価　格
ガラスサーバー	A1030	¥1,200

※価格は全て税込みとなります。

取扱説明書

保証書付き

1.安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

⃠記号は、「禁止」（しないでください）を示します。

●記号は、「強制」（必ずしてください）を示します。

⚠ 警告

修理技術者以外は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
●他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。

本体を水に浸けたり、水をかけたりしない。
●感電・ショートの恐れがあります。

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。
●感電・やけど・けがをする恐れがあります。

ガラスサーバーなしで使用しない。
●過熱して発火することがあります。

⚠ 注意

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず差込プラグ部分を持って引き抜く。
●感電やショートして発火することがあります。

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
●感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない。
●電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

交流100V以外の電源は使用しない。
●感電・火災の原因となります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。
●火災の原因となります。

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
●けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

使用中や使用直後は保温プレートや湯出口、水タンクふたに手を触れない。
●高温なのでやけどの原因となります。特に乳幼児には触らせないでください。

ガラスサーバーは直火にかけない、また電子レンジで使用しない。
●割れたり、取っ手が変形したりします。

お　願　い

取扱はていねいに！
●落としたり、強い衝撃を加えたりすると故障の原因になります。

本体は丸洗いしないでください。
●ショート・感電の恐れがあります。

水タンクには水以外入れないでください。
●故障の原因になります。

空焚きしないでください。
●故障や火事の原因になります。

続けてコーヒーを作る場合は、電源ボタンを「切」にして、約5分待ってください。
●本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、湯出口から蒸気や熱湯が噴き出る恐れがありやけどの原因になります。

2.各部のなまえ

水タンクふた

バスケットカバー

抽出口

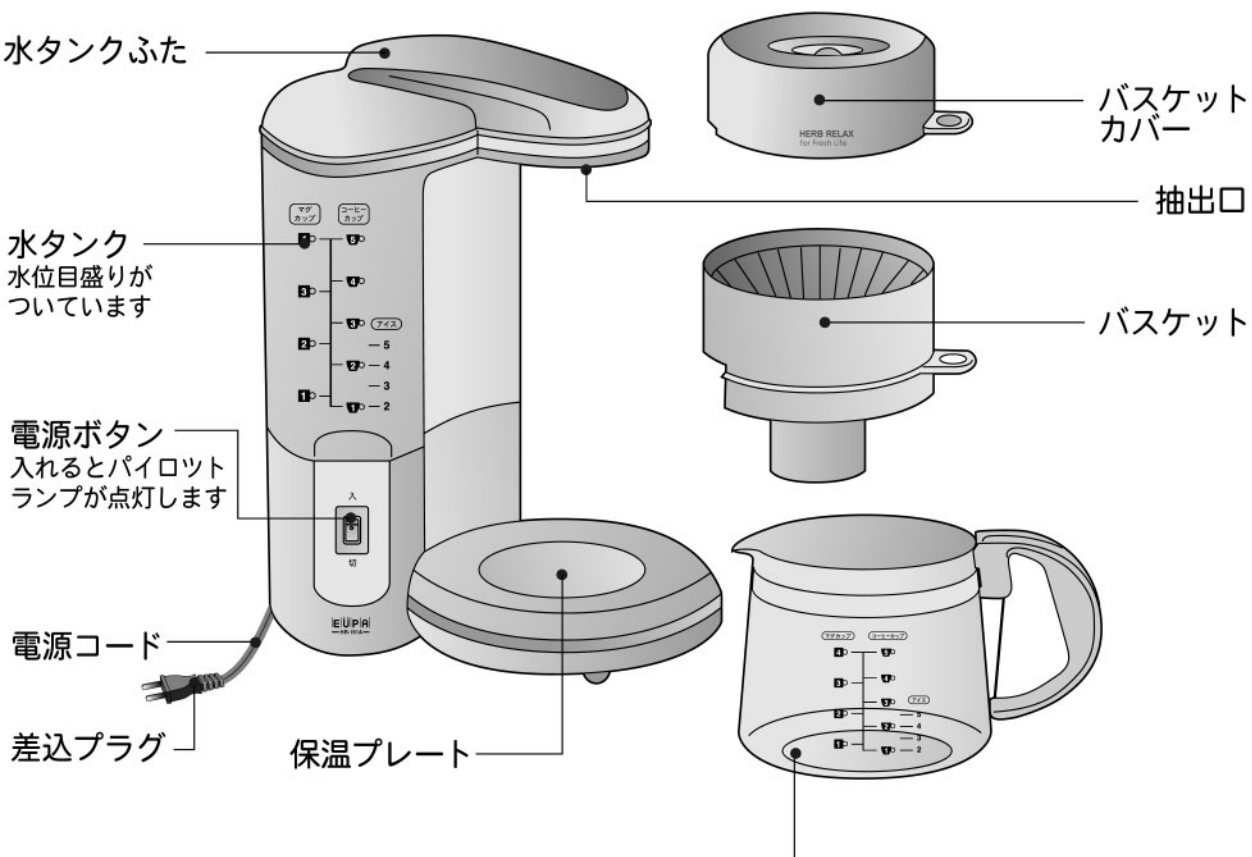
水タンク
水位目盛りがついています

バスケット

電源ボタン
入れるとパイロットランプが点灯します

電源コード

差込プラグ

保温プレート

ガラスサーバー
直接火にかけないでください。ガラスサーバーの水位目盛りはできあがったコーヒー量の目盛りではなく、水タンクに入れる水量の目盛りです。

付属品

●ペーパーフィルター2枚付。
使用したら市販のものをお求めください。(102)

ペーパーフィルターの折り方
● ミシン目から約1cm内側で折ります。

3.仕　　様

定　　格	AC 100V 50/60Hz	質　　量	1.4kg
消費電力	625W	コードの長さ	1.0m
水タンク容量	650ml	温度調節器	サーモスタット
電源ボタン	「入」（ランプ点灯）「切」	温度ヒューズ	240℃
外型寸法	幅188mm×奥行156mm×高さ250mm		
付　属　品	ペーパーフィルター（2枚）		

4.ご使用上の注意

やけどに注意

●ドリップ直後にガラスサーバーを取り外した時、抽出口より熱い蒸気が出るのでご注意ください。

水タンクは水だけ入れる

●水タンクには熱湯・牛乳・コーヒーなど水以外のものを入れないでください。
◎変形や故障の原因になります。

ガラスサーバーの取り扱いに注意

●ガラスサーバーは直接火にかけないでください。
●投げたりぶつけたりしないでください。
●本体を移動する時は、ガラスサーバーを別にして運んでください。
◎ガラスサーバーが落下、破損することがあります。

空焚きしない

●コーヒードリップ以外は、ガラスサーバーを空の状態で電源ボタンを「入」にしないでください。

5.ご使用方法

初めてご使用になる時、また長期間ご使用にならずに保管されていた時は、2～3回コーヒー粉を入れないで水だけでドリップしてください。

①水タンクの水位目盛りとガラスサーバーの水位目盛りは、水タンクに入れる水量の目盛りです。コーヒーカップ1杯は120cc、マグカップ1杯は150cc、アイスコーヒー1杯は90ccです。
②ガラスサーバーの水位目盛りはできあがったコーヒー量の目盛りではなく、水タンクに入れる水量の目盛りです。コーヒー粉の量・コーヒーの種類により、抽出時にコーヒー粉に水が吸収され、出来上がりのコーヒーの量は目盛りより少なくなることがあります。お好みにより加減してください。

ホットコーヒーの作り方

コーヒー粉の量(g)	7g	14g	21g	28g	35g
コーヒーカップ(杯)	1	2	3	4	5
コーヒー粉の量(g)	9g	18g	27g	36g	
マグカップ(杯)	1	2	3	4	

※左記はあくまで目安です。コーヒーの種類やお好みにより加減してください。

電源ボタンは「切」

1.ペーパーフィルターをセットし、コーヒー粉を入れます。

①初めにホルダーにペーパーフィルターをセットします。
②コーヒー粉を入れます。

[注] ●コーヒー粉は「ペーパーフィルター用」(中挽き粉)をご使用ください。
●「ペーパーフィルター用」以外(細挽き粉など)はご使用中にホルダーからコーヒーがあふれることがあります。
●45gを超えるコーヒー粉は入れないでください。
●1～2カップのときは少し多めに入れてください。

(お好みに応じて加減してください。)

⚠注意　お子様だけの使用や、幼児の手の届くところでの使用は絶対にしないでください。
◎ やけどや感電の恐れがあります。

2.水タンクに水を入れてガラスサーバーを保温プレートにのせる。

① 水タンクの水量目盛りに合わせて、お飲みになるカップの数字まで水を入れてください。

② ガラスサーバーにガラスサーバーふたをセットし、保温プレートの中央にのせます。

［注］●600ccを超える水は入れないでください、コーヒーがあふれます。
●水タンクが変形しますので、お湯は入れないでください。
●水は浄水や市販のミネラルウォーターや飲用水をご使用してください。
●浄水・市販のミネラルウォーター・飲用水以外の牛乳やジュース等の液体を入れないでください。故障の原因になります。

3.差込プラグを差し込み、電源ボタンを「入」にします。

1.差込プラグをコンセントにしっかり差し込み、電源ボタンを「入」にします。ランプが点灯して加熱を始めます。
2.約20秒でお湯の噴出が始まり、ガラスサーバーにコーヒーが落ち始めます。
3.コーヒーが抽出し終わったら電源ボタンを「切」にして、ガラスサーバーを取り出します。
4.ガラスサーバーは注ぎ口が下になるように傾けて、コーヒーカップにコーヒーをゆっくり注いでください。
◎この際、数滴しずくがこぼれる場合がありますのでご注意ください。

●保温する時は

ガラスサーバーをそのまま保温プレートにのせ、電源ボタンを「入」にします。

［注］長時間保温にしますと、コーヒーの風味を損ねます。

4.使用後は

電源ボタンを「切」にしてから差込プラグをコンセントから抜きます。

［注］●差込プラグを抜く時は、コードをひっぱらずに必ず差込プラグを持って抜いてください。
●使用直後は保温プレートが熱くなっているので、絶対に触れないでください。
●長時間保管する場合はお手入れの後、必ず乾かしてから保管してください。

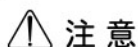
5.使い方（こんな時は）

●続けてコーヒーを作る時は

必ず電源ボタンを「切」にして約５分以上待ってから、「ご使用方法」１からの手順で行ってください。

・本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、すぐに蒸気が出て危険です。
やけどなどに充分に注意してください。

●途中で使用を中止する時は

電源ボタンを「切」にし、差込プラグをコンセントから抜いてください。
◎水タンクに残った水は、本体が冷めてから本体に水がかからないように捨ててください。

⚠注 意	使用中や使用直後は保温プレートや抽出口、水タンクふたに手を触れない。 高温なのでやけどの原因となります。特に乳幼児には触らせないでください。

5.ご使用方法

アイスコーヒーの作り方

コーヒー粉の量(g)	7g	14g	21g	28g	35g
氷	90g	180g	270g	360g	450g
アイスコーヒー(杯)	1	2	3	4	5

※上記はあくまで目安です。コーヒー粉の量や氷はお好みにより加減してください。※できあがりのアイスコーヒー１杯は、約180ccとします。

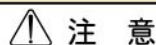
1.ホットコーヒーと同じ手順でホルダーにペーパーフィルターをセットし、コーヒー粉を入れます。
2.水タンクのアイス用の目盛りに合わせ、水を入れます。
3.コップに氷を入れて、できあがったコーヒーを注いでください。
◎アイス専用のコーヒー粉を使うと、よりおいしくいただけます。
◎コップが割れないよう、耐熱性のものをご用意ください。
4.お好みにより、シロップや生クリームを加えてお飲みください。

用意するもの
◆アイスコーヒー用粉
◆氷
◆シロップ・生クリーム
などお好みにより
◆耐熱性コップ

6.お手入れの仕方

本体側面・保温プレート
●台所用中性洗剤を浸した布を硬くしぼって拭き、洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。

バスケットカバー・ガラスサーバー・バスケット
●台所用中性洗剤をスポンジや布など柔らかい物につけて洗い、水で充分洗い流してください。

⚠注意	ガラスサーバーはお手入れ後、よく乾燥させてください。 ●サビやカビ発生の原因になります。

⚠注　意

必ず電源ボタンを「切」にし、差込プラグを抜いて、保温プレートが冷めてからお手入れしてください。

本体に水をかけたり、水に浸けたりしないでください。みがき粉や硬いタワシ、ベンジン、シンナーなどの揮発油は使用しないでください。食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。

水タンク
●きれいな乾いた布、またはスポンジで拭いてください。長時間ご使用の場合、湯アカが付くことがあるので、使用頻度や水質により、1～3ヶ月に一回湯アカを取り除くお手入れをしてください。そのときにクエン酸あるいはレモン汁や食酢を入れて洗浄すると、ニオイや湯アカなどをきれいに落とすことができます(お手入れ方法は、下記の比率の表や6ページの「7.お湯の出ぐあいが悪くなったときは」を参照してください)。

	クエン酸	レモン汁	食　酢
分量	約4g	1個	50ml
水量	240ml	240ml	270ml

7.お湯の出ぐあいが悪くなったときは

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。

こんな時は	点　　検
お湯の出が悪い	お使いになる間に、水質などによって本体内のパイプに湯アカが付き、お湯の出が悪くなることがあるので、次のようにして湯アカを取り除いてください。(浄水フィルターは必ず外してください) 1.種と絞りカスを除いたレモン汁(1個分)と水約240mlを、ガラスサーバーに入れよく混ぜます。(レモン汁の代わりに市販のクエン酸や食酢もご使用になれます。) 2.「1」をタンクに入れて、コーヒーを作る方法で沸かし、レモン水がガラスサーバーに全て移ったら電源ボタンを「切」にし ます。 3.ガラスサーバーに残ったレモン水を捨て、水だけを水位目盛りの「12」まで入れ抽出します。においがとれるまでこれを2回以上くり返します。

8.アフターサービスについて

1.保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保証期間中に修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

3.保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって、機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4.この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

6.アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

燦坤(サンクン)日本電器株式会社　〒110-0016 東京都台東区台東1丁目24番1号

お客様専用ダイヤル　03-3837-1235

受付時間：月～金曜日　9時～12時／13時～17時（土、日曜、祝日はお休み）

http://www.tsannkuen.jp